

事務事業名	不法投棄防止等対策費										担当	部課名	環境部環境事業センター			
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	03	細目	003	説明	02	課等の長	手塚 富美雄	電話	6454

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 53 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	良好な生活環境を保全するため、不法投棄の防止及び処理、ボランティア団体の清掃活動により集めたごみの処理等を実施する。						
対象	1. 個人	市民					438,968 人
根拠法令等	法律等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
事業実施内容	1.不法投棄の収集9tを実施 2.不法投棄防止対策事業を実施 (1)夜間パトロール延べ52日実施 (2)重点地区パトロール実施 (3)監視カメラ6台・監視センサー10カ所設置 (4)不法投棄防止看板161枚設置 (5)市民団体と協働した啓発活動等 3.ボランティア収集ごみを228t収集し、美化活動を支援 4.一日清掃デーについては新型コロナウイルス感染症対策のため中止した。						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		
	13,335 千円	費目	支出済額 (千円)	主要内容
		需用費	3,720 千円	不法投棄防止及びボランティア清掃事業
		委託料	1,448 千円	不法投棄防止夜間監視・不法投棄専用電話受付業務委託
		使用料及び賃借料	834 千円	不法投棄監視カメラ賃借・不法投棄塵芥収集車等賃借
		備品購入費	7,150 千円	パワーゲート付き2トンダンプ購入
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		
	13,335 千円	費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
	その他 (市債等)	6,174 千円		
	一般財源	7,161 千円		

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	5.00人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	5.00人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度										
コスト	行政費用 A	65,526	54,276	52,929	54,571										
	(1)現金を伴う支出 (千円)	66,140	56,341	52,949	54,567										
	事業費(支出済額)	8,427	7,748	6,859	13,335										
	償還金利息	0	0	0	0										
	人件費合計(①+②+③)	57,713	48,593	46,090	41,232										
	①常時勤務職員等の給与等	55,039	45,705	43,385	39,142										
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0										
	③退職金相当額	2,674	2,888	2,705	2,089										
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-614	-2,065	-20	5										
	①減価償却費	0	0	0	0										
	②退職給与引当金繰入額	-614	-2,065	-20	5										
	③不納欠損額	0	0	0	0										
④その他 ()	0	0	0	0											
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		152.63	429,317	125.33	433,060	121.64	435,121	124.32	438,968						
成果実績	指標名	不法投棄ごみ収集量の削減	目標	15	単位	t	15	単位	t	15	単位	t	14	単位	t
	実績		実績	11	単位	t	29	単位	t	12	単位	t	9	単位	t
備考															

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	環境部	氏名	福室 祐子	確認日	2022/8/17
----	-----	----	-------	-----	-----------

事務事業名	廃棄物等戸別収集事業費										担当課	部課名	環境部環境事業センター			
予算科目コード	会計	01	款	05	項	02	目	02	細目	001	説明	01	課等の長	手塚 富美雄	電話	6454

1. 事業概要

事業開始年度	平成 24 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	法定受託事務
事業概要	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に定められている一般廃棄物処理基本計画に従って、市内の一般家庭から排出される可燃ごみ、不燃ごみ及び資源等を収集する。				
対象	1. 個人	市民			438,968 人
根拠法令等	法律等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
事業実施内容	市内の一般家庭等から排出される可燃ごみ・不燃ごみ・資源を収集する。				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		
	1,530,567 千円	費目	支出済額 (千円)	主要内容
		需用費	12,490 千円	区域別収集日程カレンダー印刷製本費
		役務費	10,092 千円	剪定枝チップ化処理
		委託料	1,120,059 千円	廃棄物等収集運搬業務委託
		使用料及び賃借料	4 千円	サーバ再リース料
	負担金補助及び交付金	387,922 千円	資源回収事業補助金	
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		
	1,530,567 千円	費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料	487,821 千円	
		国庫支出金		
		県支出金		
	その他 (繰入金等)	197,427 千円		
	一般財源	845,319 千円		

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	118.30人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	1.75人工
合計	120.05人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	4.00人

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		行政費用 A	2,643,570	2,708,918	2,724,267	2,491,108
		(1)現金を伴う支出 (千円)	2,652,581	2,701,295	2,727,727	2,501,561
		事業費(支出済額)	1,534,098	1,567,711	1,637,720	1,530,567
		償還金利息	0	0	0	0
		人件費合計(①+②+③)	1,118,483	1,133,584	1,090,007	970,994
		①常時勤務職員等の給与等	1,065,654	1,067,267	1,013,844	917,735
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	14,585	7,167
		③退職金相当額	52,829	66,317	61,577	46,092
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-9,011	7,623	-3,460	-10,453
		①減価償却費	0	0	0	0
		②退職給与引当金繰入額	-9,011	7,623	-3,460	-10,453
		③不納欠損額	0	0	0	0
		④その他 ()	0	0	0	0

市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	6157.62	429,317	6255.29	433,060	6260.94	435,121	5674.92	438,968
----------------------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
上記指標名の設定ができない理由		生活に支障が生じないように廃棄物等を収集する事業であることから、目標を設定できる性質のものではないため。								

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	環境部	氏名	福室 祐子	確認日	2022/8/17
----	-----	----	-------	-----	-----------

事務事業名	大型ごみ収集費										担当課	部課名	環境部環境事業センター			
予算科目コード	会計	01	款	05	項	02	目	02	細目	001	説明	02	課等の長	手塚 富美雄	電話	6454

1. 事業概要

事業開始年度	平成 4 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	法定受託事務
事業概要	市内の一般家庭等から排出される大型ごみをコール制により各戸収集する。				
対象	1. 個人	市民			438,968 人
根拠法令等	法律等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
事業実施内容	大型ごみ各戸収集運搬等業務については、受付業務から各戸収集運搬業務までを業務委託により民間業者が実施し、受付業務については4人、各戸収集運搬業務については11台で実施した。大型ごみ500円、特別大型ごみ(16品目)1,000円。				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度	事業費節別内訳		
	支出済額	費目	支出済額 (千円)	主要内容
	246,072 千円	需用費	3,992 千円	大型ごみ等処理手数料納付券印刷製本費等
		役務費	16,761 千円	大型ごみ等処理手数料納付券交付手数料
委託料		225,319 千円	大型ごみ各戸収集運搬等業務委託	
財源内訳	R3年度	事業費節別財源内訳		
	支出済額	費目	支出済額 (千円)	
	246,072 千円	分担金・負担金		
		使用料・手数料	175,152 千円	
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ()				
一般財源	70,920 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	1.60人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	1.60人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	2.00人

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		行政費用 A	248,881	260,785	262,415	260,169
		(1)現金を伴う支出 (千円)	248,956	261,081	262,418	260,168
		事業費(支出済額)	237,623	244,701	246,596	246,072
		償還金利息	0	0	0	0
		人件費合計(①+②+③)	11,333	16,380	15,822	14,096
		①常時勤務職員等の給与等	6,417	11,445	11,073	10,262
		②会計年度任用職員の報酬等	4,588	4,588	4,424	3,584
		③退職金相当額	328	347	325	251
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-75	-296	-3	1
		①減価償却費	0	0	0	0
		②退職給与引当金繰入額	-75	-296	-3	1
		③不納欠損額	0	0	0	0
		④その他 ()	0	0	0	0

市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	579.71	429,317	602.19	433,060	603.09	435,121	592.68	438,968
----------------------	--------	---------	--------	---------	--------	---------	--------	---------

成果実績	指標名	大型ごみ収集個数	目標	単位	-	単位	-	単位	-
			実績	単位	240,768	単位	253,943	単位	290,839
備考		実績は、市民からの収集依頼に基づいた結果であることから、目標を設定できる性質のものではないため。							

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	環境部	氏名	福室 祐子	確認日	2022/8/17
----	-----	----	-------	-----	-----------

事務事業名	環境事業センター南部収集事務所管理費										担当課	部課名	環境部環境事業センター			
予算科目コード	会計	01	款	05	項	02	目	02	細目	002	説明	01	課等の長	手塚 富美雄	電話	6454

1. 事業概要

事業開始年度	平成 12 年度	終了(予定)年度	令和 4 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	南部地域におけるごみ収集運搬業務施設である環境事業センター南部収集事務所を運営維持管理する。						
対象	1. 個人	環境事業センター南部収集事務所職員				76 人	
根拠法令等	法律等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
事業実施内容	南部収集事務所の運営維持管理						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)	
	18,885 千円	費目	支出済額(千円)		主な内容
		需用費	11,832 千円		事務用品、光熱水費
		役務費	1,106 千円		電話料、各種点検、緑地管理
		委託料	5,764 千円		庁舎清掃・警備・保守点検(電気、冷温水機)業務委託
	使用料及び賃借料	183 千円	NHK受信料、コピー機・ファクス賃借料		
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳			
	18,885 千円	費目	支出済額(千円)		
		分担金・負担金			
		使用料・手数料			
		国庫支出金			
		県支出金			
	その他()				
	一般財源	18,885 千円			

令和3年度	0.40人工
常時勤務職員※	1.00人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	1.40人工
合計	0.00人

※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く

会計年度任用職員(配置数)	0.00人
---------------	-------

4. コスト分析

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
行政費用 A	41,422	41,604	39,936	33,201
(1)現金を伴う支出 (千円)	33,115	33,424	31,472	27,749
事業費(支出済額)	18,660	19,818	18,566	18,885
償還金利息	0	0	0	0
人件費合計(①+②+③)	14,455	13,606	12,906	8,864
①常時勤務職員等の給与等	13,751	12,797	12,148	8,696
②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0
③退職金相当額	704	809	758	167
(2)現金を伴わない支出 (千円)	8,307	8,180	8,464	5,452
①減価償却費	8,469	8,469	8,469	8,469
②退職給与引当金繰入額	-162	-289	-5	-3,017
③不納欠損額	0	0	0	0
④その他()	0	0	0	0

市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	96.48	429,317	96.07	433,060	91.78	435,121	75.63	438,968
----------------------	-------	---------	-------	---------	-------	---------	-------	---------

成果実績	指標名	目標	実績
	上記指標名の設定ができない理由	本事業費は施設運営に係る経費であることから、成果を数値で表すことが困難なため。	

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		事業統合	
今後の方針	現在改築中の環境事業センターの竣工に伴い、南北収集事務所を統合するため、「環境事業センター北部収集事務所管理費」と統合する。		

6. 部長確認欄

部名	環境部	氏名	福室 祐子	確認日	2022/8/17
----	-----	----	-------	-----	-----------

事務事業名	環境事業センター北部収集事務所管理費										担当課	部課名	環境部環境事業センター			
予算科目コード	会計	01	款	05	項	02	目	02	細目	002	説明	02	課等の長	手塚 富美雄	電話	6454

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 56 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	北部地域におけるごみ収集運搬業務施設である環境事業センターを運営維持管理する。				
対象	1. 個人	環境事業センター北部収集事務所職員	80 人		
根拠法令等	法律等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
事業実施内容	北部収集事務所の運営維持管理(事務所の建替工事に伴い、6月に仮設事務所へ移転した)				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額 15,625 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主要内容
		旅費	33 千円	経常旅費
		需用費	5,876 千円	消耗品、車両修繕、光熱水費
		役務費	496 千円	電話料、設備点検
財源内訳	R3年度 支出済額 15,625 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 (光熱水費実費収入)	125 千円	
		一般財源	15,500 千円	

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	1.60人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	1.60人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
コスト	行政費用 A	38,923	36,413	36,636	25,602				
	(1)現金を伴う支出 (千円)	38,449	33,063	32,989	25,602				
	事業費(支出済額)	25,268	23,216	22,262	15,625				
	償還金利息	0	0	0	0				
	人件費合計(①+②+③)	13,181	9,847	10,727	9,977				
	①常時勤務職員等の給与等	12,946	9,616	10,511	9,809				
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0				
	③退職金相当額	235	231	216	167				
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	474	3,350	3,647	0				
	①減価償却費	3,648	3,648	3,648	0				
②退職給与引当金繰入額	-3,174	-298	-1	0					
③不納欠損額	0	0	0	0					
④その他 ()	0	0	0	0					
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		90.66	429,317	84.08	433,060	84.20	435,121	58.32	438,968
成果実績	指標名	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	上記指標名の設定ができない理由	本事業費は施設運営に係る経費であることから、成果を数値で表すことが困難なため。							

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価の視点と具体的内容	
評価	必要性 藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか 高
	有効性 事務事業の実施手法の有効性は高いか 高
	効率性 事務事業の実施にあたり、効率性は高いか 高
	公平性 事務事業の公平性は高いか 高
	その他 上記評価の視点以外に、特記すべき内容 無
事業の方向性	事業統合
今後の方針	現在改築中の環境事業センターの竣工に伴い、南北収集事務所を統合するため、「環境事業センター南部収集事務所管理費」と統合する。

6. 部長確認欄

部名	環境部	氏名	福室 祐子	確認日	2022/8/17
----	-----	----	-------	-----	-----------